

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス  
ベストライフつばさ

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

1月

31日

|           |                 |   |       |     |         |   |    |
|-----------|-----------------|---|-------|-----|---------|---|----|
| 法人（事業所）理念 |                 | 卒業後、地域社会に自信を持ちたいていける、そんな「つばさ」を持って欲しい。そんな願いを込めて、ベストライフつばさはお子様とご家族様とスタッフが力を合わせ一人一人の発達を支え、思いや願いをくみ取り、卒業時には一人で生きていく力を育み、羽ばたけるよう支援する療育機関（児童発達支援・放課後等デイサービス）です。                           |       |     |         |   |    |
| 支援方針      |                 | 理学療法士、作業療法士（リハビリの専門職）を中心に、家庭や園、学校でのつまずきに積極的に介入し、運動面・学習面・社会面あらゆることに専門的なアプローチを行います。療法士が適宜、検査をし、個別支援計画をたて集団や個別の中での確な訓練を行います。   |       |     |         |   |    |
| 営業時間      |                 | 9時  | 30分から | 17時 | 30分まで   | 送迎実施の有無   | あり |
| 支 援 内 容   |                 |   |       |     |         |   |    |
| 本人支援      | 健康・生活           | ①検温、顔色等の観察、飲水、排尿排便、睡眠リズムなどの確認。手洗い、うがいなどの保清、身だしなみ、トイレ動作などの確立する。<br>②スケジュールに沿った視覚支援や声かけ、時間による片付けや、準備を行う。<br>③食に対する関心を持ち、身長、体重管理やストレス、薬の管理等を促す。  |       |     |         |   |    |
|           | 運動・感覚           | 療法士を中心に、身体の機能を評価し、手先での巧緻動作や遊び、トレーニング等を通じて手足、体幹の筋力、感覚統合、協調性の向上を行います。<br>①創作活動やアイロンビーズ、粘土等を利用し、巧緻性と視覚的空間能力の向上を図ります。<br>②体操教室やリトミック、音楽教室、外遊びや、サーキットトレーニングなど様々な感覚や空間を使いながらの運動機能向上を図ります。 |       |     |         |   |    |
|           | 認知・行動           | 認知能力に合わせた療育道具による療育やプリント学習などを通じ認知機能の向上を目指します。<br>①時計やタイマーなどを用いて、時間の感覚や次の行動への計画、駄菓子屋さんなどお金を通じて物の価値や、計算能力を向上します。<br>②パズルや積み木、オセロやトランプなどマッチングや色の識別、大きさ比較、特定のルール下で遊ぶなどの積み重ねを行います。        |       |     |         |   |    |
|           | 言語<br>コミュニケーション | 他の利用者や指導員、外出先で出会う人など言語の発達に合わせたコミュニケーション能力の向上を図ります。<br>①あいさつや日常会話を通じて、相手を考えコミュニケーションできるよう図ります。<br>②絵カード、ジェスチャーやマカトンサイン等で非言語のコミュニケーション能力を高めます。<br>③司会や発表を通じ、みんなにわかりやすいように伝える自信を向上します。 |       |     |         |   |    |
|           | 人間関係<br>社会性     | 社会性や円滑な人間関係を促すための環境調整や関わり方の経験を積み重ねていきます。<br>①1人遊びから、指導員との会話を通じ、集団遊びにつなげ、一定のルールの理解と相手への尊重の気持ちを育てます。<br>②公共のルールや交通ルール、物の購入のやりとりなど積み重ねることで、焦らず行動に移すことができるようになります。                      |       |     |         |   |    |
| 家族支援      |                 | 連絡ノートを活用したり送迎時に学校やご家庭での様子を共有することで、今後の療育活動に活かします。  |       |     | 移行支援    | ケース会議や面談等を行いながら、次の進路先に向けて必要な療育活動等を検討し、移行先での自信や安心につなげていきます。      |    |
| 地域支援・地域連携 |                 | 地域の行事への参加や図書館、体育館などを活用していきます。地域の学校や福祉サービスと連携し、包括的な支援を行います。  |       |     | 職員の質の向上 | 身体拘束や虐待防止、感染対策など定期的に職員の知識向上と実践研修を行います。外部の研修会への参加や資格取得を積極的にいきます。 |    |
| 主な行事等     |                 | 体操教室、音楽療法、リトミック等、夏祭りやクリスマス、ハロウィンなどの行事の実施<br>クッキングや動物園等でのふれあい、外出先での買い物<br>電車やロープウェイなどの乗車や切符購入、博物館等での体験など   |       |     |         |   |    |